

若者から信頼される大人に ブルーヒンメル

猪名川町青少年健全育成推進会議広報紙

発行／猪名川町青少年健全育成推進会議 会長 太田 はるよ
連絡先／猪名川町役場 青少年担当（代表番号）072-766-0001



もくじ (頁)

スマホサミット 2015 開催	2
決して諦めない若者の底力	4
恐怖！危険ドラッグ	7
青少年健全育成推進会議の 1 年	8



子どもたちの笑顔を絶やすことのないように

猪名川町青少年健全育成推進会議

会長 太田 はるよ



平素より当推進会議の活動にご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

当推進会議は「しっかりと目をみて会話しよう」を活動方針とし、地域の大人をはじめ、小中高の先生やPTA役員などで構成された社会教育団体です。「大人は子どもたちや若者のために何ができるだろうか」と日々考え、次世代を担う若者たちが健やかに育ち社会に羽ばたくことができるよう、時には若者とともに、時には若者の活動を見守り、時には若者と話し合い、若者の目をしっかりと見つめながら活動しています。

青少年を取り巻く厳しい社会環境は、間違いなく大人が作り出したものです。しかし、子どもたちはその社会環境の中で生きていかなければならず、大人の責任が問われています。

当推進会議では、子どもたちの「生きのびる力」を育み、養わなければならないと考え、今年度、若者たちで構成する「SWING-BY実行委員会」を設立し、共に活動しています。若者たちにとっては、様々なボランティア活動を通して、仲間との関わり方、大人との関わり方、自分自身との関わり方を身につけることができた一年間だったと思います。

繋がりが希薄化した現代社会では、大人と子どもの関係も分離してしまいがちです。今一番必要なことは、子どもたちが大人に相談できる環境をつくることです。そして、大人は若者から頼ってもらえるような存在にならなければなりません。また、世代や組織の枠組みを超えて繋がる地域にするための方策を少し時間がかかるかもしれませんが、知恵を出し合い、互いに助け合うという意識を忘れず、活動を続けていきます。

「すべては子どもたちの笑顔を絶やすことのないように」

第3回猪名川町青少年フォーラム

スマホサミット2015開催

高校生から小中学生への模擬授業など

猪名川町青少年健全育成推進会議は平成 27 年 2 月 21 日、第3回猪名川町青少年フォーラム「INAGAWA スマホサミット 2015」をイナホールで開催しました。（参加者＝216 名）

今回も、昨年度のスマホサミットと同様、若者が中心となって全体を進行する形式がとられました。

内容は、高額課金や長時間使用などスマートフォンに潜む危険性や安全な使い方について考察するため、※スマホアンケート調査（第2弾）の結果報告や若者と大人によるパネルディスカッションなどが行われ、まとめとして、①一旦スマホを置いてどんどん外へ出よう、②困ったら大人に相談しよう、③みんなでルールを作ろう、を柱とする「新スマホサミット宣言」が採択されました。

※スマホアンケート調査（第2弾）

＝平成 26 年 6 月に町内の小中高生（3,928 名）を対象に、アダルトサイトに関する項目も含めて調査したもの



開会式であいさつする太田会長

なかでも、高校生が先生役を務め、生徒役の町内小中学生約 40 名に対して実施した「いながわスマホ教室（公開模擬授業）」では、高校生自らが作成した「啓発ビデオ」を上映しながら、否定的な投稿が殺到する「ネット炎上」などがわかりやすく解説されました。

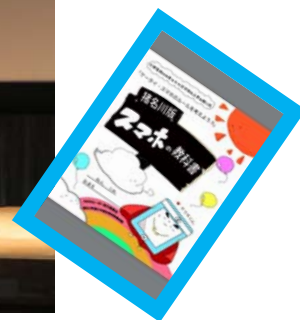
また、この間、若者の視点で編集・発行してきた小学生向け冊子「猪名川版スマホの教科書（4,000 部）」が高校生から猪名川町教育長に手渡されました。教科書は今後、関係児童・生徒や保護者に配付される予定です。



公開模擬授業「いながわスマホ教室」の様子



辰巳教育長へ手交される「スマホの教科書」

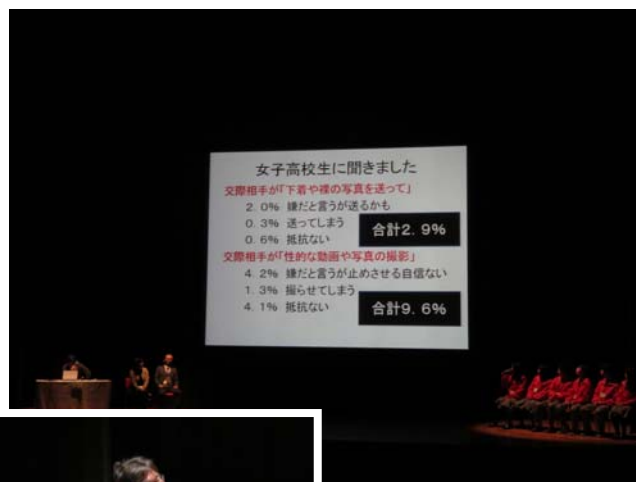
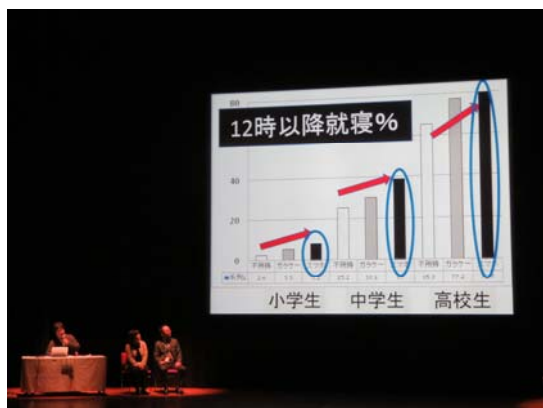


大人と若者のパネルディスカッション

■家族でスマホ使用のルールを話し合おう

スマホの高い所持率は、ネット上での課金やケンカ、交際相手を巻き込んだ性的動画投稿の問題など、トラブルに巻き込まれやすい環境にあるとのスマホアンケート（第2弾）の報告に基づき、大人と若者によるパネルディスカッションが行われました。

「勉強中でもスマホの誘惑が強い」「悪ふざけ投稿の動機はアクセス数が増える快感にあるのではないか」「スマホトラブルの経験がない教員にとって的確な助言を与えるのは難しい」などの意見が出され、スマホの使用については、そのルールを家族で話し合うことが大切であることを確認しました。



パネルディスカッションの様子

コーディネーター

兵庫県立大学 准教授 竹内 和雄さん

パネラー

保護者代表 人見 和子さん

教育関係者代表 石田 健一郎さん

若者代表 SWING-BY の6名

大人から子どもたちへのスマホ宣言

■若者と複雑なネット社会に正面から向き合う

若者たちが本サミットのまとめとして採択された「新スマホサミット宣言」の内容を受け、地域で活動する青少年関係3団体が大人を代表して以下のサミット宣言を発信しました。

<モラルなきネット社会>

多様化する価値観という理屈で一括りにされた「言いたい放題のネット社会」の現実を若者たちとともに考えていく最も重要な課題とする。

<若者たちを守る責務>

深刻化する青少年問題に最大限の取り組みを実践し、「信頼される相談相手」として、若者と複雑なネット社会に正面から向き合っていく。

<地域をあげた大人同士の協力>

「困ったら大人に相談しよう」と宣言した子ども・若者たちの期待に応えるため、大人同士の協力関係を強化していく。



猪名川町 PTA 連合会会長 宇高 一哉さん



一般社団法人川西青年会議所理事長 福元 達也さん



猪名川町青少年健全育成推進会議会長 太田 はるよ

決して諦めない若者の底力

SWING-BYの新たなスタート

青少年健全育成推進会議は平成 26 年の総会で、若者の諸活動が平成 25 年夏の音楽イベント以降、活発化してきたことから、同会議内に「SWING-BY 実行委員会」を常設して、分野ごとの役割を明確にするため、「スマホ部会」「ステージ部会」「ボランティア部会」の 3 部会を設置する規約改正を行いました。ただし、音楽イベント開催時に確認した、いわゆる「SWING-BY プロジェクト」の考え方は継承することとしています。

<SWING-BY プロジェクトの概要>

- ・コンセプトは、「若い力で地域の活性化をはかる！」「できることは何でもやる！」「決して諦めない！」
- ・8 月のプロジェクト期間中は、ボランティア活動や広報活動などを地域で積極的に展開する。
- ・具体的な取り組みとして、日生中央駅前での「挨拶運動」と「清掃活動」を行う。
- ・この他、福祉施設への訪問や、地域の夏祭りのお手伝い、模擬店の出店など、様々なオーダーに対しては、青少年健全育成推進会議の役員と相談しながら、積極的に対応する。

スマホ部会の取り組み

スマホ部会は、年間を通じて、小中学生の子どもたちにスマホ利用の注意点などを啓発する「スマホ授業」の実施をはじめ、授業に関係する「啓発ドラマ」の制作や、「スマホの教科書づくり」に取り組んでいます。

また、地域からの要望に応じる出前型の「大人へのスマホ授業・世代間交流」を展開するほか、町外で実施される他団体のスマホ関連事業に積極的に参加し、猪名川町での取り組みなどを PR しています。



ワークショップの様子

スマホサミット クローズド開催

平成 26 年 11 月 15 日、スマホ部会が中心となって、本年 2 月に開催した「INAGAWA スマホサミット 2015」の事前協議の場として、関係者のみが集まり「スマホサミット クローズド」が開催されました。6 月に実施したスマホアンケート調査（第 2 弾）の結果に基づき、グループワークやプレゼンを通じた「新スマホサミット宣言」の骨組みの協議が行われました。



グループワークの様子

<スマホ部会の主な活動日誌>

平成 26 年

- 4 月 スマホ授業の放課後会議（～10 月）
- 6 月 町内小中学校・県立高校に
スマホアンケート調査（第 2 弾）実施
- 8 月 スマホ啓発ドラマの撮影
- 11 月 高校生によるスマホ授業実施
日本教育心理学会での事例発表
関西スマホサミットに参加
INAGAWA スマホサミットクローズド実施
- 12 月 日本教育心理学会シンポジウムに参加（東京都）
OSAKA スマホサミットに参加

平成 27 年

- 1 月 次世代防犯ボランティアリーダー育成研修会に参加
- 2 月 むこがわ CAP 主催スマホ授業実施
白金小学校区まちづくり協議会主催スマホ授業実施
INAGAWA スマホサミット 2015 で公開授業



表彰を受ける松永実行委員長



町内で初めて取り組んだスマホ授業（中央公民館）

子ども・若者が届けた「音楽のチカラ」

ステージ部会の取り組み

平成 26 年 8 月 31 日、ステージ部会が中心となって企画・運営する実行委員会形式の若者たちによる音楽祭「SWING-BY～無限への挑戦～」がイナホールで開催されました。

ダンスやバンド演奏など 9 つのユニットが出演し、会場は子ども・若者たちのパワーで熱気に包まれ、彼らが届けた「音楽のチカラ」は、人々の鼓動をつなぐ大きな原動力となりました。

小さな輪「鼓動（こころ）」をつなげて無限の和



新羅万象



Sakuranbo Kids Dance



大島小学校太鼓クラブ



oli oli Hawaiian hula studio



Escargot Candy



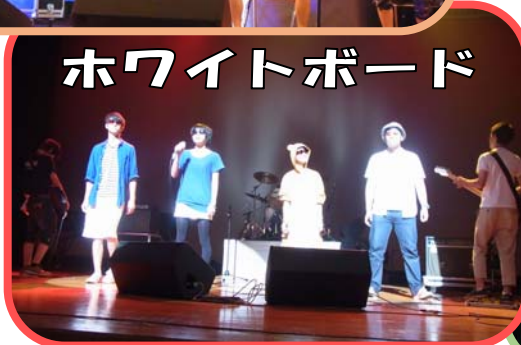
Infinity



SnOw DrOp



ホワイトボード



松尾台小学校軽音楽クラブ



笑顔忘れず謙虚な姿勢

ボランティア部会の取り組み

ボランティア部会は、SWING-BY プロジェクトの精神に則り、年間を通じて、早朝の「駅前挨拶・清掃活動」をはじめ、ステージ部会と連携した地域のイベントにおける「音楽・出店活動」や、福祉施設での「音楽・対話活動」など若者の持つ行動力を存分に発揮し、精力的なボランティア活動を地域で展開しました。

また、SWING-BY 実行委員会の活動を広く周知・発信するため、新聞「よりみち」を発行し、公的施設の協力によって案内板に掲示してもらうなど SWING-BY 活動の認知度を高める広報部門も担当しています。



＜清掃ボランティア＞

- ・原則週2回（火、土）の日生中央駅前清掃
- ・8月の音楽イベント広報を兼ねた町内清掃
- ・平成27年2月 鎌倉周辺の河川敷清掃活動



＜地域イベントにおけるボランティア＞

平成26年6月

- ・ほたるの夕べ「出店&演奏」

平成26年7月

- ・日生夏祭り「設営&出店&演奏」
- ・楊津校区盆踊り大会「設営&出店」
- ・子ども会関係「オセロ大会」の審判スタッフ

＜福祉施設でのボランティア＞

平成26年8月

- ・子育て支援センター交流会
- ・ゆうあいセンター訪問

平成27年1月

- ・ゆうあいセンター訪問
- ・介護施設「オアシス猪名川」訪問

恐怖！危険ドラッグ

青少年健全育成推進会議は、平成 26 年 7 月 16 日に開催した第 2 回全体会の中で、子どもたちを守るフィルタリングに関する自主研修会を実施しました。また、同年 10 月 15 日に開催した第 3 回全体会においても、関係役員や校区委員を対象に、社会問題として取り上げられるようになった「危険ドラッグ」について、講師を招いた講演会を実施しました。いずれも、子ども・若者たちを取り巻く最近の厳しい環境について、「まずは大人や親が知っておく」という観点からの学びの場として、関連情報を共有しました。

第 3 回全体会（講演会）

◇テーマ（第 1 部）

人生の破壊につながる「危険ドラッグ」の恐ろしさ

◇講 師

阪神北少年サポートセンター
所長 池岡 久雄さん



◇内 容

- ・青少年を廃人に追い込む「危険ドラッグ」について（DVD 上映）
- ・近隣の販売店情報など

池岡所長は講演の中で、危険ドラッグとは、覚せい剤や大麻などの規制薬物でも指定薬物でもないが、夢と現実の区別がつかなくなる「ヤバイもの」であり、使用が過ぎると医者の治療でも回復が困難な状態になるばかりか、廃人と化す危険物質であるとの理解を求めました。

また、最初の動機は、友人や先輩、恋人からの誘いが多く、当事者の若者にとって必ずしも「NO!」と言えない背景があるのではないかとし、青少年の「甘い認識」「弱い気持ち」といった精神的な奥深さに歯止めがかけられない現実があるとの認識を示しました。

人はなぜ「依存」するのか

◇参加者

川西保護区保護司会、自治会長連絡協議会、学校関係者など約 70 名

◇ワークショップ（第 2 部）

池岡所長の講演の後、SWING-BY の高校生と大人の参加者が 7 グループにわかれ、「依存」に関するワークショップを実施し、世代間の枠を超えた有意義な意見交換を行いました。

今、依存している対象は、「たばこ」「スマホ」「ネット」「家族」「先輩」「コーヒー」など人それぞれの様子でしたが、なぜ依存するのかという問いかけには、「寂しさを紛らわすため」「今の自分から逃げるため」「頼りたいと思う弱い気持ちがあるから」と池岡所長の講義に通じるものがありました。

第 2 回全体会（自主研修会）

◇テーマ

子どもを守るフィルタリングの活用

◇講 師（乾 担当理事）

- ### ◇内 容・フィルタリングソフトの紹介
- ・情報モラルチェック



猪名川町青少年健全育成推進会議の1年

6/7 ほたるのタベで



11/3 いながわまつりで



子ども・若者健全育成月間啓発活動

3/10 猪名川町青少年問題協議会で

活動報告と情報交換



<平成 26 年度年間活動日誌>

- H26. 5.15 第 1 回全体会 (各校区委員選出)
5. 31 平成 26 年度総会 (活動方針など)
6. 7 ほたるのタベ (パトロール&模擬店)
7.16 第 2 回全体会 (自主研修会)
8.31 SWING-BY~無限への挑戦~
10.15 第 3 回全体会 (講演「危険ドラッグ」)
11. 2 高校生によるスマホの授業
11. 3 子ども・若者健全育成月間啓発活動
11.15 第 4 回全体会

(INAGAWA スマホサミットクローズド)

- H27.2.21 第 3 回青少年フォーラム

(INAGAWA スマホサミット 2015)

<その他の活動>

- ・役員会 (毎月)
- ・各中学校区委員会 (随時)
- ・ブルーヒンメル発行
- ・青少年指導員としてのパトロール
- ・阪神間及び町内の関係団体主催行事への出席

<連携活動>

- ・猪名川町青少年問題協議会 (年 2 回)
- ・こころ豊かなまちづくり推進協議会
- ・地域安全推進協議会
- ・木津総合会館運営審議会
- ・木津総合会館及び清水東会館あり方検討協議会

編集後記

前号のブルーヒンメル編集後記に「次は大人の番である」と書いたが、今回の「第 3 回青少年フォーラム INAGAWA スマホサミット 2015」では、若者たちの「新・スマホ宣言」を受け、大人のスマホ宣言が採択された。猪名川町の若者たちも素晴らしい。大人たちもまた素晴らしい。そう感じたサミットだ。

大人のスマホ宣言には、「行政や警察、家庭・地域などの大人同士が有機的な連携を図り、地域の全ての子どもや若者たちのためにできることを最大限に取り組み、関連情報の提供や啓発とともに、見守り、育み、指導していく信頼できる相談相手として、若者と複雑化するネット社会に向き合っていく」という若者たちへの温かい見守りの気持ちが込められていた。

宣言にあるように、子どもたちを見守っていく姿勢を我々は強化しなければならない。子どもたちは勝手に育っていく、と思う面もちろんあるが、そうやって育つのは周囲の大人たちがしっかりしているという「前提」がある。今回のスマホサミットで出されたそれぞれの宣言を胸に、日々暮らしていかなければならない。

最後に、サミットの副実行委員長川嶋くんの話を聞いて、若者たちの「道」は無限への挑戦という文字どおり、果てしなく続いていると実感した。それをどう支援できるか。大人の力の見せどころであろう。(広報委員 K)